



# 園だより かけはし

キッドワールドこども園  
令和6年9月1日

日中は夏と変わらないような暑い日が続いていますが、日が落ちるのが随分と早くなってきました。

9月以降も、残暑が続く見通しなので、熱中症には十分気を付けていき、戸外での活動時間や水分補給をこまめに行っていきたいと思います。また、台風が発生する時期でもありますので、『大分市防災メール』の登録や、『おおいた洪水ハザードアプリ』などを活用して災害における危機管理意識を高めていきましょう。

9月も様々な遊びの計画を立てています。体を使った遊び(リトミック、サーキット遊び)では、出来るようになるまで何度も挑戦したり、繰り返し行うことで体の使い方が分かったりします。感触遊び(スライム、泥遊び、絵の具遊び)では、繰り返し遊び込んだり、試したり、感じたりするなかで自分を表現していけるようにしていきたいと思えます。



## 行事予定

日	曜日	園児に関すること
2	月	避難訓練(シェイクアウト)
3	火	身体計測(4歳児)
4	水	身体計測(5歳児)
5	木	身体計測(3歳児)
6	金	身体計測(2歳児)
10	火	環境劇巡回公演(4,5歳児)
11	水	身体計測(1歳児 Aクラス)
12	木	身体計測(1歳児 Bクラス)、Kids English
13	金	身体計測(0歳児)、弁当日
19	金	健康診断、Kids English
26	木	Kids English
27	金	誕生会

### 登園、降園について

登園や降園時に、駐車場を走り回ったり、遊んだりする姿が見られ事故につながるのではないかとのご意見をいただきました。

そこで、保護者の皆様に再度、お願いがあります。まず、自家用車からお子さんを下ろした際は、必ずお子さんと手をつなぐようお願いいたします。



## お知らせ・お願い

※ 9月の弁当日は、13日(金)です。子どもさんが楽しみにしています。忘れないようにお持ちください。

※ 9月の保育料の納入期間は、24日(火)・25日(水)・26日(木)の3日間です。(期限内に納入できない場合は、教頭の奥下までご相談ください。)



## 絵本の読み聞かせ(読み遊び)で変わる子どもの世界

キッドワールド特別顧問 山崎 富美子

園では、活動の合間に、先生たちが、絵本を読んでいます。先生が絵本を大事そうに持ってくると、絵本が大好きといわんばかりに、子どもたちは、すぐに集まってきて、身を乗り出すようにして見ます。どのクラスにも、子どもたちが喜びそうな絵本がたくさん並んでいます。また、「毎月、本屋さんへ行って、面白そうな絵本を1冊ずつ買って子どもたちに読んでいます。」という先生もいます。

子どもたちが大好きな絵本をおうちでも読み聞かせ(読み遊び)をしていますか？

随分、前の新聞記事に、「子どもが、絵本を読んでと言ってきたら、これ以外に大切なものは、何もない」と書かれている方がいました。「絵本を読んで」と言ってきたら喜んで読んであげましょう。

テレビやビデオの長時間視聴や、スマホ、ゲーム等で、子どもたちのコミュニケーション能力が低下している昨今、「人は、人によって育つ」人間の生の声や、肌のぬくもりが人を人として育てていきます。コミュニケーション能力を育てるには、読み聞かせ(読み遊び)が効果的です。読み聞かせ(読み遊び)は、親子との触れ合いの中で、言葉や心を育み、人としての大切なことを学んでいます。それは、とりもなおさず学力の基礎ともなります。そしてそのことは、愛された温かい記憶として、いつまでも残り、人生の色々な場面で生きる力となって働きます。

ここで読み聞かせ(読み遊び)をする時に効果的な手法をいくつか紹介します。まず、好きなメロディーをつけて歌い読みしたり、だるまさんシリーズのように、抱っこで身体を左右に動かしたり、きんぎょがにげたのように、捜しっこをしたり、立ち止まってお話ししたりします。そうすることで、スキンシップや、コミュニケーションを図りながら、お父さんお母さん(おうちの人)と子どもが心豊かで楽しい時間を共有することができます。

私が実際に経験した話をここで1つ紹介させていただきます。昔、夫が孫に、恐竜の本を読んでいた時のことです。薄っぺらなきょうりゅうの本の始まりは、「ちきゅうに、まだひとがいなかったおおむかし」でした。しかし夫は、冒頭から、うつむき加減で「むかあ—————し、むかし」と読むことで、孫を喜ばせ、とてつもなく遠い過去を想像させていたのです。改めて、この読み方も素敵ね、と誉めたくになりました。

読み聞かせ(読み遊び)は、絵本があると、お父さんお母さん(おうちの人)が抱っこしてくれて、優しい声で楽しい世界へ連れて行ってくれる、というコミュニケーションや、疑似体験の場です。

こうやって、読み聞かせ(読み遊び)を、たくさんしてもらった子どもたちは、きっと本好きになるでしょう。しかし、気を付けなければいけないことがあります。子どもが字を読めるようになったときに、せっかく「絵本を読んで」と言ってきたのに、「自分で読みなさい」と言ったら絵本が嫌いになります。絵本は、子どもが読む本ではなくて、大人が読んであげる本です。絵本は、子どもに喜びと楽しみを味わわせるものです。

市民図書館や公民館には、たくさんの絵本があります。子どももカードが作れるので、一人10冊、お母さんと借りれば20冊も借りられます。親子で読み聞かせの時間を充実させていきたいですね。

参照 絵本で子育て親育ち、アドバイザー講座

絵本の与えかた福音館書店

大分市民図書館 <https://www.library.city.oita.oita.jp/>

大分県立図書館 <https://www.oita-library.jp/>

